

25journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

農業振興の難しさ認識、課題解決の展望も



市長、都議らが関塚さん家族と農業をテーマに懇談

市長と都議、ベリー農家の関塚さんと懇談

青梅市新町のベリー農家、関塚直子さんと夫の聡明さんによる懇談会が19日、市長と都議、農業関係者による懇談会が持たれた。農業振興の難しさを改めて認識する一方、展望も開けた。

12月定例会一般質問で農産物のブランド化など農業振興が取り上げられた。この質問と答弁に対し、ある農業者が「市長に伝えたいことがある」と思った。市長と質問した市議会議員も、両者の思いが一致した。



農業の課題や可能性を語る関塚直子さん(中央奥)

話合ったのは、ベリー農家の関塚直子さん、夫の聡明さん、長男の剛史さん、大勢待利市長、質問者の山崎善信市議員、オプザーバーで森村隆行都議、目黒えり市議員が加わった。

一般質問では、青梅市のブルーベリー生産量が都内一であり、ウメ、ユズ、狭山茶、キノコ、カキ、鶏卵、トマトなど魅力ある農産物が多いとし、ブランド化で活性化を図るべ

きとの質問に、市は青梅生まれの豚肉「TKO KYO-X」が知られ、ウメとスモモを掛け合わせた「露茜」の導入が進んでいるなどとし、ブルーベリーを含め市内の魅力ある農産物の高付加価値化に向けた姿勢を示した。

大勢待市長 意見を庁内議論に生かしたい

森村都議 課題整理し、農業振興を後押し

直子さんは、44年前にベリー栽培を始め、ベリーコテージを建て、果実販売、摘み取り、創作スイーツのカフェ営業の三本柱で観光農園を営んできたことや、都内はもちろん地方、海外からの視察を受け入れ、ベリーの普及に尽力してきた歴史を振り返り、「より良い品種と栽培法にこだわり、安心でおいしいベリーを提供することが顧客の定着、拡大

体の不調にしっかり対応

あきるの波多野整骨院

波多野整骨院(腰痛研究所併設)では、冷房による体の不調にもしっかりと対応する。波多野良夫院長(70)は「一般的な整骨院とは異なり、どんな症状の患者様であっても体の根幹から変えることをコンセプトとしています。体を根幹から変えられるのは、体の骨格・筋肉・神経系、更には全身の血流までへもアプローチができるからです」と話す。熟練した手技による患部へのア

今年も猛暑。エアコンを使って暑さを乗り切りたいが、冷房は体に負担がかかり、辛い腰痛や肩痛を引き起こすことも。あきるの波多野整骨院(腰痛研究所併設)では、冷房による体の不調にもしっかりと対応する。波多野良夫院長(70)は「一般的な整骨院とは異なり、どんな症状の患者様であっても体の根幹から変えることをコンセプトとしています。体を根幹から変えられるのは、体の骨格・筋肉・神経系、更には全身の血流までへもアプローチができるからです」と話す。熟練した手技による患部へのア

につなぐるとし、農業者にはそのための努力が求められる」と話した。

元厚生労働技官で研

聡明さんは「ブルーベリーは小粒だが、捨てる所がない。健康志向の追い風もある。価値が高くなっても高品質のものを生産していくことが大切。『食卓にベリーを、窓辺にベリーを』と唱え頑張ってきた妻を見てきたが、ベリーが好きじゃないとできない。生産者の情熱が大事だ」と話した。

高品質なサービス きめ細やかなサポート

TCN 多摩ケーブルネットワーク
0428-32-1351 www.t-net.ne.jp